

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公表番号】特表2010-502634(P2010-502634A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526819(P2009-526819)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/32

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月18日(2010.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、-メチルアクリル酸(クロトン酸)、シス- -メチルクロトン酸(アンゲリカ酸)、トランス- -メチルクロトン酸(チグリン酸)、-ブチルクロトン酸、-フェニルアクリル酸、-ベンジルアクリル酸、-シクロヘキシルアクリル酸、-フェニルアクリル酸(ケイ皮酸)、クマル酸(o-ヒドロキシケイ皮酸)及びウンベル酸(p-ヒドロキシクマル酸)のポリマーからなる群から選択されたポリマーの溶液を含む眼科用組成物であって、容量オスマル濃度が200~260mOsm/kgであり、pHが6.5~7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない、眼科用組成物。

【請求項2】

前記ポリマーが多官能性架橋剤によってわずかに架橋されている、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記ポリマーが0.01~5質量%含まれる、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

水溶液を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項2に記載の組成物。

【請求項9】

抗アレルギー剤、抗炎症剤、抗感染剤、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択された活性成分をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

抗アレルギー剤、抗炎症剤、抗感染剤、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択された活性成分をさらに含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項11】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、-メチルアクリル酸(クロトン酸)、シス- -メチルクロトン酸(アンゲリカ酸)、トランス- -メチルクロトン酸(チグリン酸)、-ブチルクロトン酸、-フェニルアクリル酸、-ベンジルアクリル酸、-シクロヘキシルアクリル酸、-フェニルアクリル酸(ケイ皮酸)、クマル酸(o-ヒドロキシケイ皮酸)及びウンベル酸(p-ヒドロキシクマル酸)のポリマーからなる群から選択されたポリマーの溶液を、目の不快感の軽減に十分な量で含む、目の不快感を軽減するための組成物であって、容量オスモル濃度が200~260mOsm/kgであり、pHが6.5~7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない、組成物。

【請求項12】

前記ポリマーが0.01~5質量%含まれる、請求項11に記載の組成物。

【請求項13】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項14】

粘性率調節化合物をさらに含む、請求項11に記載の組成物。

【請求項15】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、並びにメタクリル酸、-メチルアクリル酸(クロトン酸)、シス- -メチルクロトン酸(アンゲリカ酸)、トランス- -メチルクロトン酸(チグリン酸)、-ブチルクロトン酸、-フェニルアクリル酸、-ベンジルアクリル酸、-シクロヘキシルアクリル酸、-フェニルアクリル酸(ケイ皮酸)、クマル酸(o-ヒドロキシケイ皮酸)及びウンベル酸(p-ヒドロキシクマル酸)のポリマーからなる群から選択されたポリマーを薬理学的に許容可能な基剤と組み合わせる工程を含む、目の不快感を軽減できる組成物を製造する方法であって、該組成物は溶液であり、容量オスモル濃度が200~260mOsm/kgであり、pHが6.5~7.5であり、かつ目に不快感を生じさせる保存剤を含まない組成物の製造方法。

【請求項17】

前記ポリマーが0.01~5質量%含まれる、請求項16に記載の方法。

【請求項18】

前記ポリマーがポリアクリル酸を含む、請求項17に記載の方法。

【請求項19】

前記組成物の中に粘性率調節化合物を含める操作をさらに含む、請求項16に記載の方法。

【請求項20】

前記粘性率調節化合物が、グリセロール、プロピレングリコール、ポリオール、セルロース誘導体、ならびにこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項19に記載

の方法。